

## 21年にわたり調査を実施 沖縄でのザトウクジラの繁殖行動の最盛期を解明！

一般財団法人 沖縄美ら島財団(沖縄県本部町)の小林希実らの研究グループは、ザトウクジラの繁殖海域である沖縄周辺海域に來遊するザトウクジラの交尾や出産など繁殖行動の最盛期について、21年間にわたる調査で明らかにしました。本研究の成果は、Scientific Research Publishing のオンライン学術誌「Open Journal of Animal Sciences」に掲載されました。

### ■発表雑誌■

雑誌名 : Open Journal of Animal Sciences

論文名 : Peak mating and breeding period of the humpback whale (*Megaptera novaeangliae*) in Okinawa Island, Japan

著者名 : (一財)沖縄美ら島財団 総合研究センター 小林希実  
総合研究センター 岡部晴菜  
動物管理チーム サブリーダー 河津勲  
魚類チーム 主任技師 東直人  
水族館事業部長 宮原弘和

国立大学法人 東京海洋大学 鯨類学研究室 教授 加藤秀弘  
(一財)沖縄美ら島財団 研究顧問 内田詮三

### ■ポイント■

- 1991年から2012年までの21年間、沖縄周辺海域に來遊するザトウクジラの調査を実施。
- ザトウクジラの尾びれ腹側の模様による個体識別法と行動観察により1284個体の雌雄を判別。
- 沖縄に來遊するザトウクジラの交尾行動は1~2月下旬に最盛期をむかえ、約1年の妊娠期間を経て、出産は2月中旬以降に多いことが推定される。
- 長期にわたる本調査は、地元住民の皆様やホエールウォッチング事業者の皆様はじめ、多くの方々のご協力のもと継続することができた。
- ザトウクジラは、沖縄でもホエールウォッチングの対象として注目されており、本研究の成果は、沖縄の観光産業にとって重要な位置を占めるザトウクジラの資源管理や保全活動に役立つと期待される。

### ■代表研究者プロフィール■

小林 希実(こばやし のぞみ):

2015年東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 海洋環境保全学専攻 博士前期課程修了。2015年(一財)沖縄美ら島財団 総合研究センター採用。専門は鯨類の生活史、鯨類の音響行動学的研究。

<お問い合わせ> 一般財団法人 沖縄美ら島財団 広報 IT 課 上間・又吉

TEL 0980-48-3649 / FAX 0980-48-2200

### <研究の背景>

ザトウクジラは、夏季は高緯度海域で摂餌を行い、冬季に低緯度海域へ繁殖のため回遊することが知られています。しかし、水中での直接観察が難しいことから、その行動については未だ解明されていない事が多いのが現状です。

ザトウクジラの繁殖海域の一つである沖縄周辺海域では、例年1月～4月にその来遊が確認されており、当財団では、1991年から2012年までの約21年にわたり、ザトウクジラの調査を実施してきました。ザトウクジラの尾びれの腹側に見られる模様や後縁の形状は各個体で異なるため、収集した尾びれ写真を1頭ずつ地道に照合することで個体を識別することができます。私たちの研究グループでは、この特徴を利用した個体識別法と、行動観察により、これまでに1284個体の雌雄を判別しました。さらに性別および1頭群、2頭群、3頭群以上、仔連れ群といった群れの構成を分類し、それぞれの出現した時期を解析しました。



ザトウクジラの尾びれ

### <研究成果の概要>

解析の結果、ザトウクジラの出遊時期前半にあたる1月下旬～2月下旬に雌雄のペアである2頭群や、交尾集団(雌雄混合の3頭以上の群れ)の発見が多いことが分かりました。一方で、仔クジラを伴う雌の発見は出遊時期後半の2月中旬～3月下旬にかけて増加することが分かりました。これらのことから、沖縄に来遊するザトウクジラの交尾行動は1月～2月下旬に最盛期をむかえ、約1年の妊娠期間を経て、出産は2月中旬以降に多いことが示唆されました。

地元住民の皆様やホエールウォッチング事業者の皆様をはじめ、多くの方々のご協力のもと、21年間に及ぶ調査を継続することができ、これまで不明な点が多かったザトウクジラの繁殖生態解明につながったと考えています。



ザトウクジラの親子



ザトウクジラのブリーチ

### <今後の展開>

ザトウクジラは、沖縄でもホエールウォッチングの対象として注目されており、沖縄の自然環境の保全や種の保全を基盤とした冬場の観光資源としての活用が期待されています。本研究の成果は、沖縄の観光産業にとって重要な位置を占めるザトウクジラの資源管理や保全活動に役立つと考えています。

(一財)沖縄美ら島財団では、調査研究事業で得られたこのような情報を、講演会などを通じて積極的に発信しています。これらの活動を通して、沖縄に来遊するザトウクジラの生態の面白さや現状を広く一般に広めると共に、ザトウクジラを含む沖縄の自然環境の保全に対する意識の向上に貢献できればと考えています。